



←クヌギの木に樹液をもとめて多くの蝶や虫たちが集まる。アカボシゴマダラチョウ、ゴマダラチョウ、カナブンなど。

→さすが夏だ。レジャーボートが走る川面をゆく渡し舟。

梅雨が明けた。

関東地方では東京の水がめ荒川（下流部は隅田川）水系のダムの水が不足ぎみなので吸水制限が発令された。

一方で北九州では集中豪雨で大きな被害がでた。東北地方でもとくに秋田県では豪雨による被害がでている。

「地球がどこがおかしくなっているんじゃないの？」

そんな話になった。

「地球がおかしくなっているっていうとヒアリ騒動。これまで日本にはいなかった毒をもったアリがはいつてきたという、あの騒ぎなあ」

舟頭さんが話をふった。

中国から輸入したコンテナと一緒にヒアリがはいつてきたといつて関西や中部それに関東地方の港であいついで発見され、問題になっている。

「ひよつとしてさあ、中国がわざとコンテナにヒア리를しのばせて日本に送り込んでたりして……」

そういう私に、

「まさか、そりゃあないだろう？」

舟頭さんが否定して続けた。

## 今週のクマ

→あいかわらずクマはもてる。特に女性にはもてる。



→小さな公園に猫が捨てられている。ここがわが家とばかりに、暑さをさけて日陰のコンクリートの上で暮らしている。



「いまは大騒ぎをしているけどセアカコケグモのときもそうだし、デング熱のときもそうでそのときだけ騒いで、あつというまに忘れてしまう。きつとヒアリもそうじゃないの？」

そういえばあまり報道されていないが環境省はホームページで、アメリカでは年間一〇〇〇人の死者が出ていると聞いていたが、それがとんでもない嘘でまったく根拠がない数字だったという。

マスコミもひどい。一〇〇〇人もの死者がでているというデータが嘘だというのにその事実を報道しない。なぜ報道しないのか私にはまったく理解できない。

日本人の特性なのだろうか？ 熱しやすく冷めやすい。いまはヒアリを恐れているが、もうすでに多くの人がヒアリ騒動などどこの話しだとばかり思っているのではないだろうか。

製薬会社ではアリ退治の薬をいちもより二倍ちかく生産しているという。ホームセンターなどではアリ退治の薬剤が例年の十倍ちかい売れ行きだそうだ。

いまもテレビなどではヒアリ関連の番組が流されているが、いつごろヒアリ騒動が収束のだろう。そう遠くない？